

岡山県感染症週報 2014 年 第 9 週 (2 月 24 日～ 3 月 2 日)

◎岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です。

◆2014 年 第 9 週 (2/24～3/2) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 第 8 週 2 類感染症 結核 1 名 (50 代 女)
- 5 類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1 名 (幼児 男)
- 第 9 週 2 類感染症 結核 6 名 (30 代 男 1 名、50 代 男 2 名、60 代 女 1 名、80 代 男 2 名)
- 4 類感染症 A 型肝炎 1 名 (60 代 男)
- 5 類感染症 急性脳炎 1 名 (60 代 男)
- 後天性免疫不全症候群 1 名 (40 代 男)

■定点把握感染症発生状況

- インフルエンザは、県全体で 1911 名 (定点あたり 21.94 → 23.02 人) の報告があり、前週よりわずかに増加しました。
- 感染性胃腸炎は、県全体で 422 名 (定点あたり 7.30 → 7.96 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。

【第 10 週 速報】

- インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 58 施設でありました。(3 月 3 日～5 日)

1. **インフルエンザ**は、県全体で 1911 名 (定点あたり 21.94 → 23.02 人) の報告があり、前週よりわずかに増加しました。第 5 週をピークとして、第 6 週に報告数が減少した後、横ばいで推移していましたが、第 8 週、第 9 週と 2 週連続でわずかに増加傾向となっています。ピーク時に比べると報告数は減少したものの、依然として多くの患者が報告されており、岡山県では「インフルエンザ注意報」を発令中です (1 月 16 日発令)。地域別では、岡山市 (29.68 人)、倉敷市 (29.25 人)、備中地域 (23.92 人) の順で定点あたり報告数が多く、美作地域及び真庭地域以外では報告数が増加しています。インフルエンザによる入院患者は 4 名の報告がありました。インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 85 施設であり、第 10 週も臨時休業施設が多発しています。県内の発生状況など詳しくは、「[インフルエンザ情報](#)」をご覧ください。
全国の第 8 週の発生状況を見ると、定点あたり 27.36 人であり、第 6 週以降 3 週連続で減少しました。
2. **感染性胃腸炎**は、県全体で 422 名 (定点あたり 7.30 → 7.96 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。ひきつづき手洗いの徹底や下痢便・嘔吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。県内の発生状況など詳しくは、「[感染性胃腸炎情報](#)」をご覧ください。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	➡	★★★★	RSウイルス感染症	➡	★★
咽頭結膜熱	➡	★★★★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	★★★★
感染性胃腸炎	➡	★★	水痘	➡	★
手足口病	⬆	★	伝染性紅斑	➡	★
突発性発疹	⬆	★	百日咳	➡	
ヘルパンギーナ	➡		流行性耳下腺炎	⬆	★
急性出血性結膜炎	➡		流行性角結膜炎	⬆	★★★★
細菌性髄膜炎	➡		無菌性髄膜炎	➡	
マイコプラズマ肺炎	➡		クラミジア肺炎	➡	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡				

【記号の説明】 前週からの推移:
 : 2 倍以上の減少
 : 1.1～2 倍未満の減少
 : 1.1 未満の増減
 : 1.1～2 倍未満の増加
 : 2 倍以上の増加

発生状況: 空白:発生なし ★: 僅か ★★:少し ★★★:やや多い ★★★★:多い ★★★★★:非常に多い

今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。
 感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、平成 25 年第 42 週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。

インフルエンザ情報 2014 年 第 9 週 (2 月 24 日 ~ 3 月 2 日)

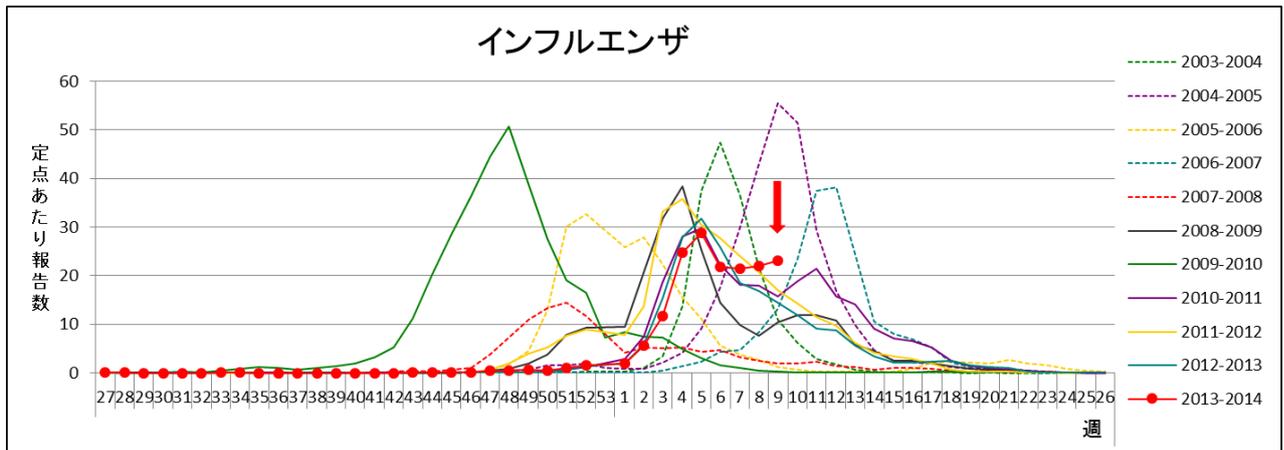
岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です。

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で 1911 名（定点あたり 21.94 → 23.02 人）の発生があり、前週よりわずかに増加しました。
- インフルエンザによる入院患者 4 名の報告がありました。
- インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 85 施設でありました。

【第 10 週 速報】

- インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 58 施設でありました（3 月 3 日～5 日）。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第 27 週 ~ 翌年第 26 週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で 1911 名（定点あたり 21.94 → 23.02 人）の発生があり、前週よりわずかに増加しました（83 定点医療機関報告）。第 5 週をピークとして、第 6 週に報告数が減少した後、横ばいで推移していましたが、第 8 週、第 9 週と 2 週連続でわずかに増加傾向となっています。ピーク時に比べると報告数が減少したものの、依然として多くの患者が報告されており、岡山県では「インフルエンザ注意報」を発令中です（1 月 16 日発令）。

地域別では、岡山市（29.68 人）、倉敷市（29.25 人）、備中地域（23.92 人）の順で定点あたり報告数が多く、美作地域及び真庭地域以外では報告数が増加しています。

第 9 週の学校等の臨時休業は 85 施設から報告がありました。第 10 週も臨時休業施設が多発していることから、今後も幼稚園児、小学生、中学生を中心に患者の発生が懸念されます。『外出後や食事前の手洗い・うがいを徹底する。』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する。』『十分な睡眠をとる。』など、感染予防に努めて下さい。また症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

◆インフルエンザが流行しています。感染予防と拡大防止に努めて下さい。

◎外から帰ったときや、食事前には手洗い・うがいを心がけましょう。

アルコールを含んだ消毒液で手を消毒するのも効果的です。

◎インフルエンザは、インフルエンザにかかった人の咳、くしゃみ、つばなどの飛沫と共に放出されたウイルスを、鼻腔や気管など気道に吸入することによって感染します。

周囲の方々のためにも普段から「咳エチケット」を心がけましょう。

◎可能な限り人混みを避け、マスクを着用しましょう。体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた食事を心がけましょう。

[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)

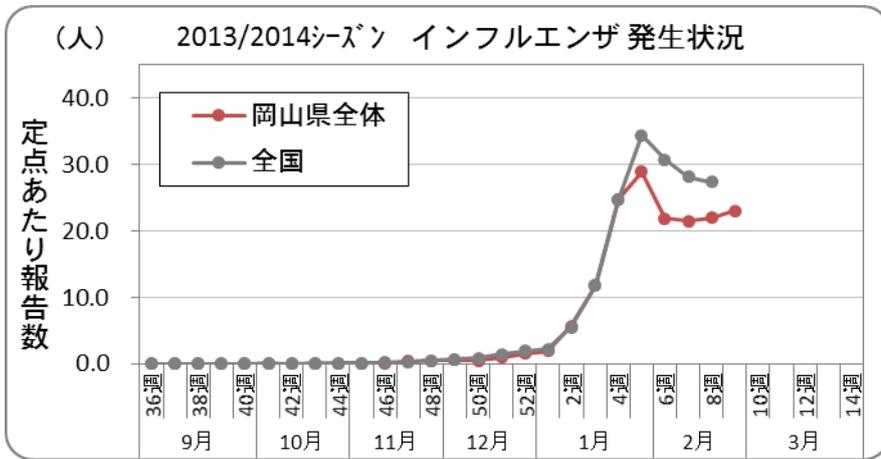
ワクチンは、感染を完全に防ぐことはできませんが、発熱期間の短縮や、重症化を防ぐことには効果があるとされています。

1. 地域別発生状況

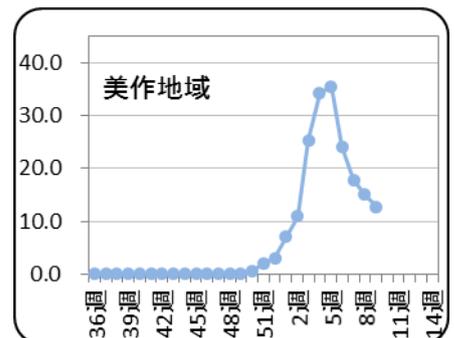
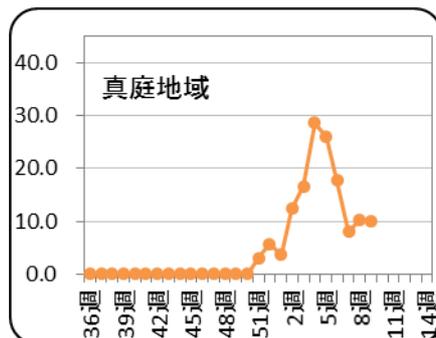
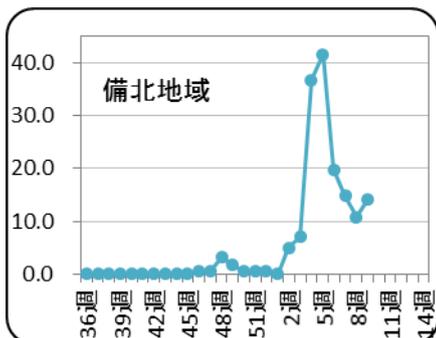
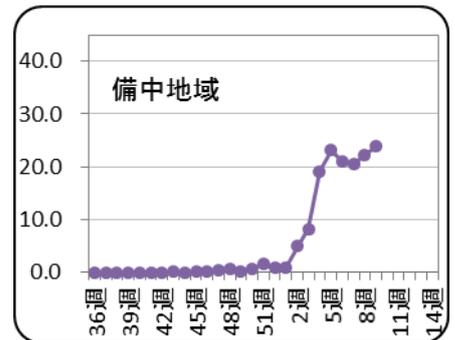
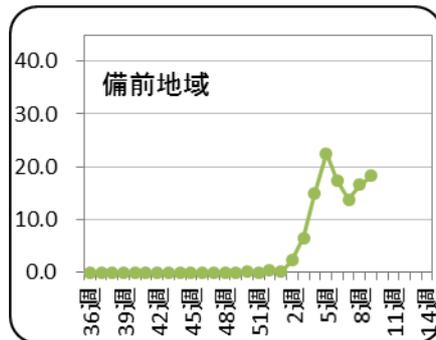
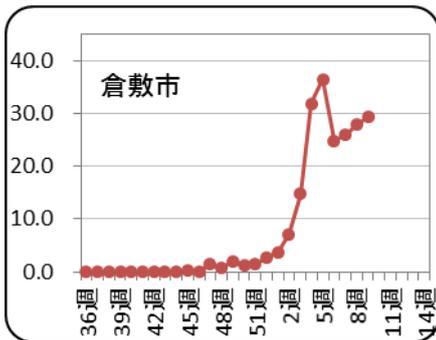
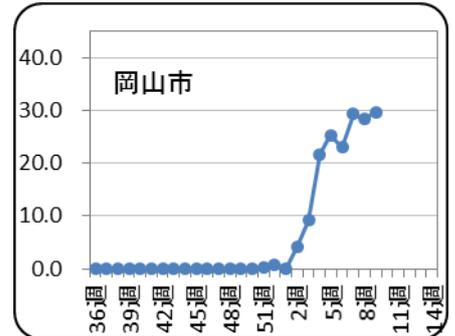
前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	1911	➡	備 中	患者数	287	➡
	定点あたり	23.02			定点あたり	23.92	
岡山市	患者数	653	➡	備 北	患者数	71	➡
	定点あたり	29.68			定点あたり	14.20	
倉敷市	患者数	468	➡	真 庭	患者数	30	➡
	定点あたり	29.25			定点あたり	10.00	
備 前	患者数	275	➡	美 作	患者数	127	➡
	定点あたり	18.33			定点あたり	12.70	

【記号の説明】 前週からの推移： 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 ↘ 1.1未満の増減 ➡
 1.1～2倍未満の増加 ↗ 2倍以上の増加 ↑

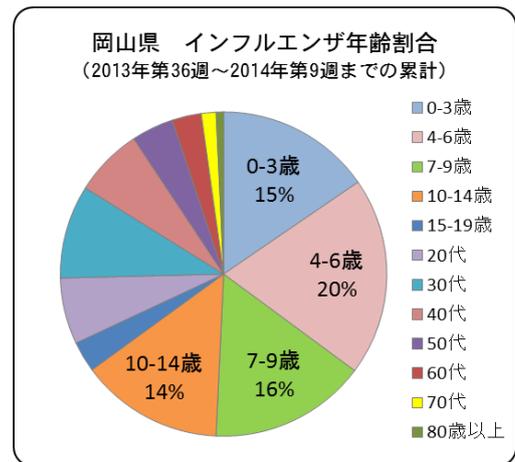
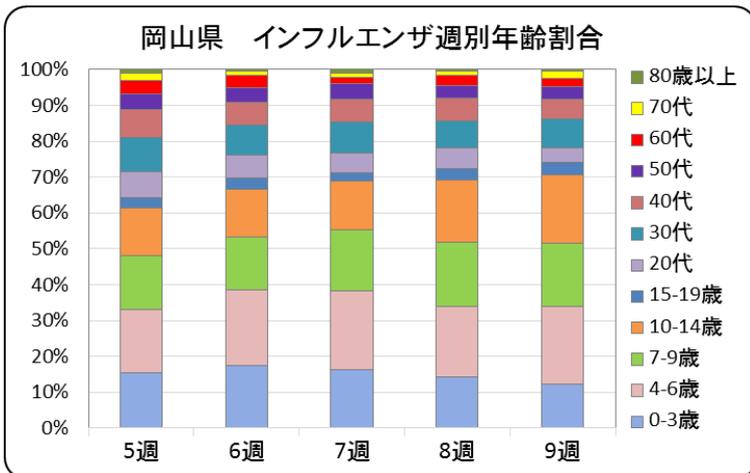


全国集計第8週(2/17～2/23)速報値によると、全国では定点あたり27.36人であり、第6週以降3週連続で減少しました。地域別では、大分県(49.33人)、福井県(43.16人)、福岡県(42.91人)の順で定点あたり報告数が多くなっており、25都府県で前週より減少しました。



2. 年齢別発生状況

週別の年齢割合を見ると、第9週は前週とほぼ同様でした。第6週以降、14歳以下の年齢層の割合に増加傾向が見られています。今シーズン（2013年9月2日～）の年齢別累計割合は、4-6歳 20%、7-9歳 16%、0-3歳 15%の順で多くなっています。



3. インフルエンザウイルス検出状況

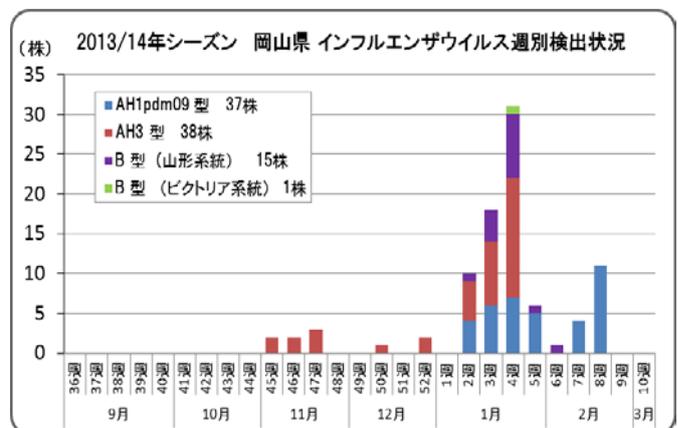
第9週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、AH1pdm09型が11株でした。今シーズンでこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が38株（42%）、AH1pdm09型が37株（41%）、B型が16株（18%）となっています。

・(岡山県 インフルエンザウイルス分離・検出状況)

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09型 47%、AH3型 27%、B型 26%の順に多く検出されています。1月以降はAH1pdm09型の検出割合が増加しています。

AH1pdm09型のインフルエンザウイルスは、4年前の2009/2010年シーズンに新型インフルエンザとして大流行し、その年に検出されたウイルスの98%がAH1pdm09型となりました。その後、2011年4月以降は通常の季節性インフルエンザの扱いとなり、つづく2シーズンは低い検出率（0.2～2.4%）でしたが、今シーズンは3年ぶりに検出率が高くなっています。（平成26年3月6日現在）

・(インフルエンザウイルス分離・検出速報 (国立感染症研究所))



【第9週判明分】

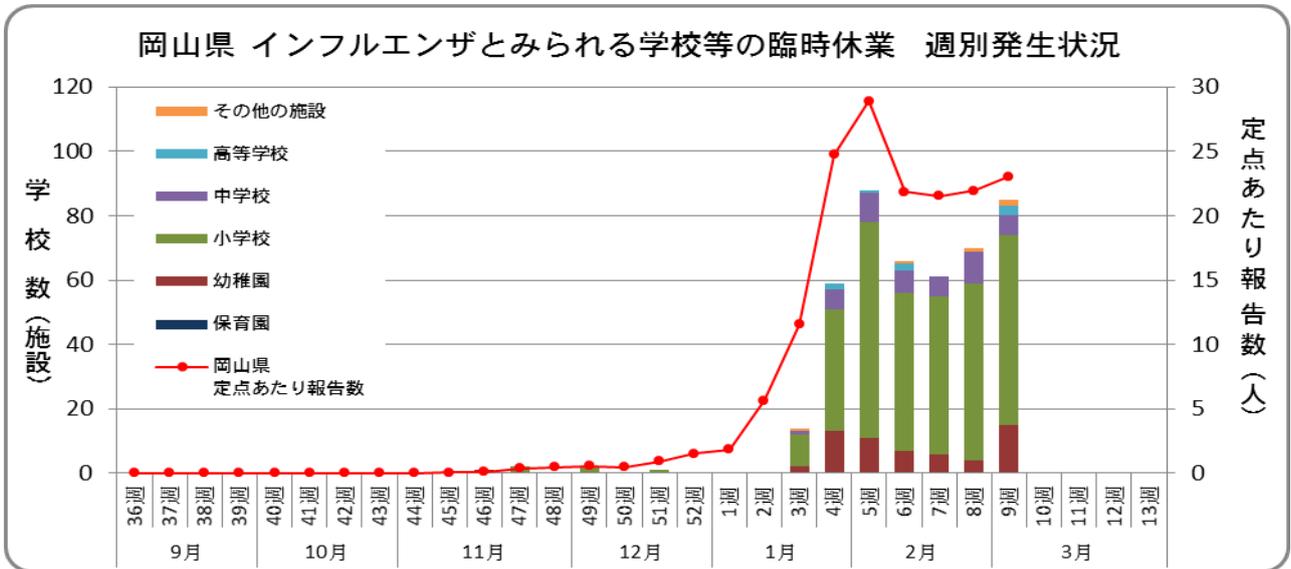
ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2014年第8週(2/17～2/23)	2014/2/17	倉敷市	小学生	男	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2014年第8週(2/17～2/23)	2014/2/17	倉敷市	中学生	男	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2014年第8週(2/17～2/23)	2014/2/17	倉敷市	幼児	男	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2014年第8週(2/17～2/23)	2014/2/20	倉敷市	40代	男	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2014年第8週(2/17～2/23)	2014/2/20	倉敷市	幼児	男	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2014年第8週(2/17～2/23)	2014/2/20	倉敷市	小学生	女	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2014年第8週(2/17～2/23)	2014/2/20	倉敷市	幼児	男	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2014年第8週(2/17～2/23)	2014/2/20	倉敷市	10代	女	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2014年第8週(2/17～2/23)	2014/2/22	倉敷市	幼児	女	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2014年第8週(2/17～2/23)	2014/2/22	倉敷市	幼児	男	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2014年第8週(2/17～2/23)	2014/2/22	倉敷市	中学生	女	

4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 85 施設でありました。

【第9週 臨時休業施設数】

▽岡山市 32 ▽倉敷市 17 ▽赤磐市 6 ▽備前市 2 ▽玉野市 2 ▽吉備中央町 1 ▽総社市 8
 ▽笠岡市 4 ▽浅口市 2 ▽矢掛町 1 ▽新見市 1 ▽高梁市 1 ▽津山市 4 ▽美作市 1
 ▽美咲町 1 ▽奈義町 1 ▽勝央町 1



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	1136	6740	917	5088	85	449	1	12	20	121	64	316	H25. 11. 13
岡山市	518	2931	404	2104	32	168	1	2	3	27	28	139	H26. 1. 14
倉敷市	240	1051	198	842	17	77	0	1	4	16	13	60	H25. 11. 18
備前地域	108	536	85	428	11	45	0	0	5	22	6	23	H26. 1. 16
備中地域	148	786	125	590	15	55	0	0	1	12	14	43	H25. 11. 13
備北地域	29	115	29	98	2	12	0	2	2	5	0	5	H26. 1. 23
真庭地域	0	68	0	55	0	8	0	0	0	7	0	1	H26. 1. 27
美作地域	93	1253	76	971	8	84	0	7	5	32	3	45	H25. 12. 20

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2) 臨時休業施設数の内訳

第9週：85施設

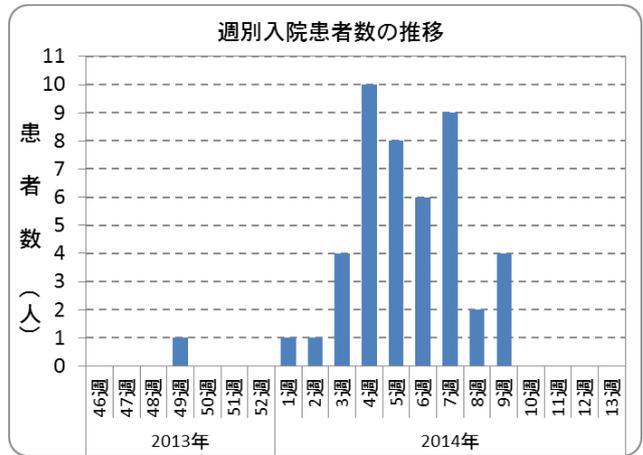
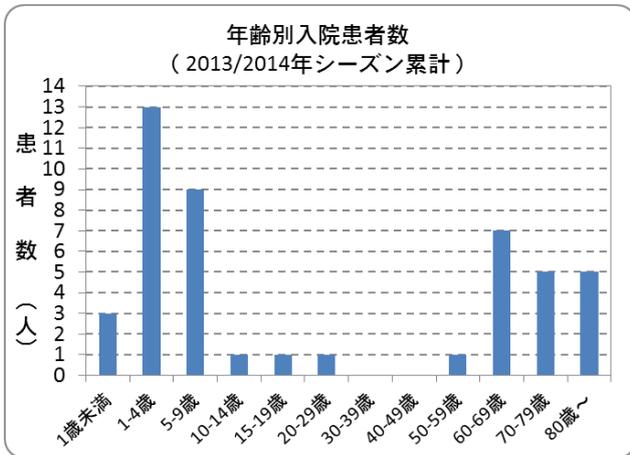
累計：449施設

施設数	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	15	59	59	332	6	45	3	8	2	5

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、4 名（1-4 歳 2 名、5-9 歳 1 名、60 代 1 名）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【第 9 週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数		2	1							1			4
ICU 入室													
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査(予定含)													
頭部 MRI 検査(予定含)													
脳波検査(予定含)													
いずれにも該当せず		2	1							1			4

* 重複あり

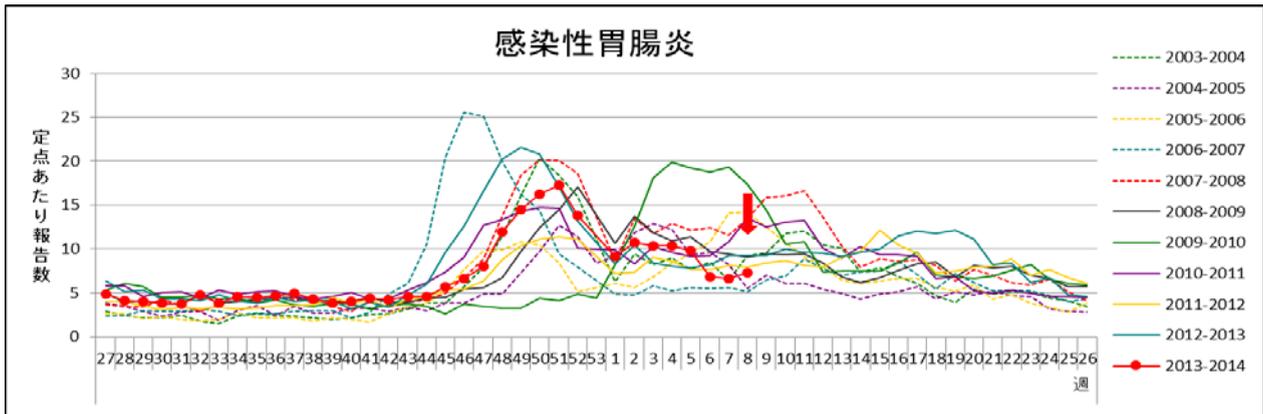
【平成 25 年 9 月 2 日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	3	13	9	1	1	1			1	7	5	5	46
ICU 入室		1							1				2
人工呼吸器の利用		1											1
頭部 CT 検査(予定含)		3	1						1		1		6
頭部 MRI 検査(予定含)	1	2	2						1		1		7
脳波検査(予定含)	1	2	2										5
いずれにも該当せず	2	9	6	1	1	1				7	4	5	36

* 重複あり

感染性胃腸炎情報 2014 年 第 9 週 (2 月 24 日 ~ 3 月 2 日)

○感染性胃腸炎は、県全体で 422 名（定点あたり 7.30 → 7.96 人）の発生がありました（53 定点医療機関報告）。



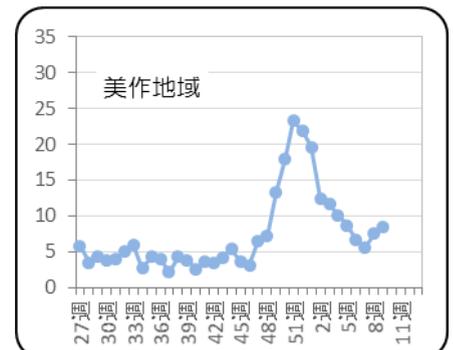
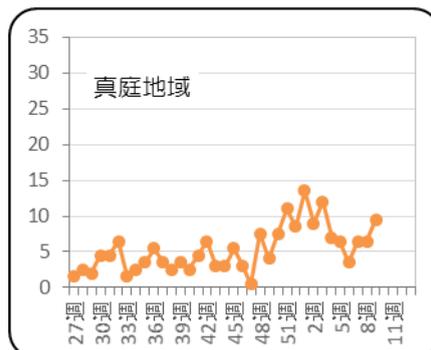
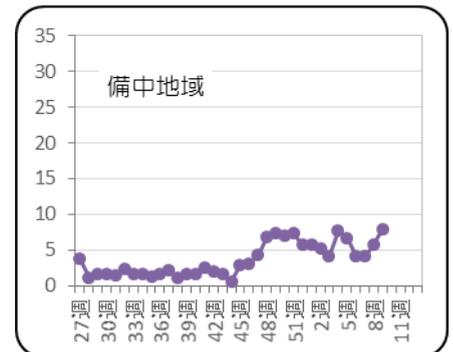
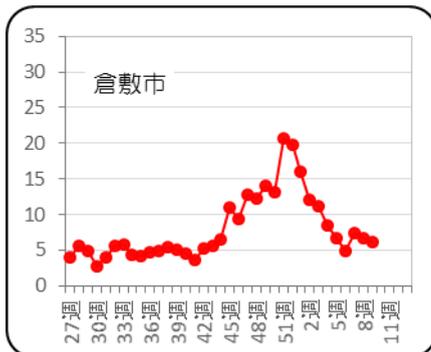
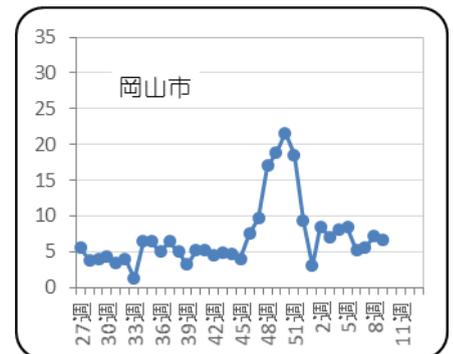
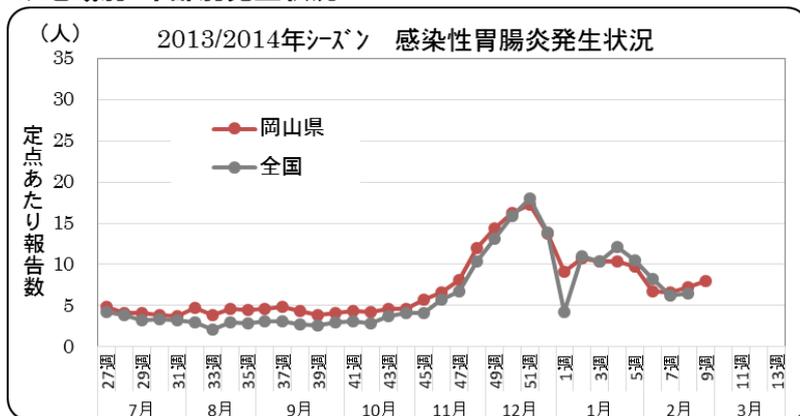
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27 週～翌年 26 週でグラフを作成しています。

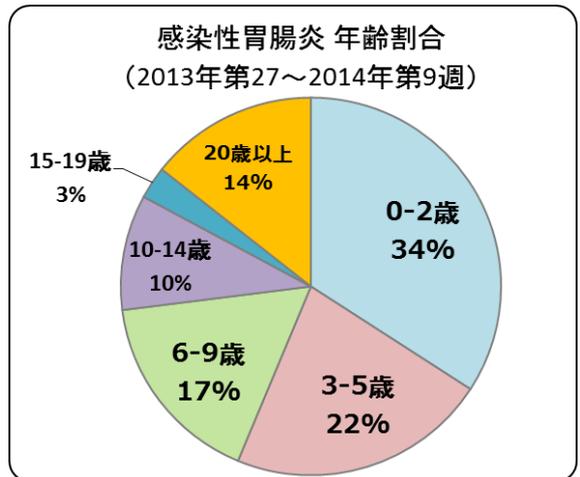
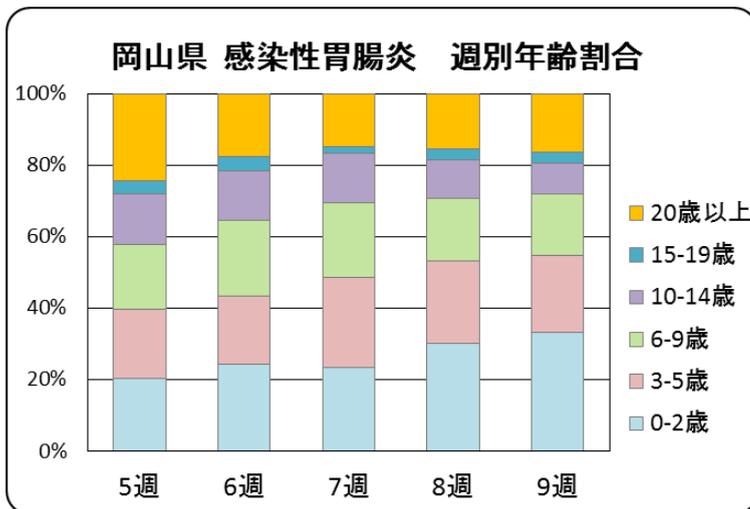
感染性胃腸炎は、県全体で 422 名（定点あたり 7.30 → 7.96 人）の発生があり、前週とほぼ同数でした。冬の感染性胃腸炎の原因はノロウイルスやロタウイルス等のウイルスによるものが多く、幅広い年齢層での発生がみられます。学校や福祉施設、病院などでは、手洗いの徹底や下痢便・嘔吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。

[○ノロウイルスに関する Q&A \(厚生労働省\)](#)

[○ロタウイルスに関する Q&A \(厚生労働省\)](#)

◆地域別・年齢別発生状況





地域別では、備北地域（11.67人）、備前地域（10.10人）、真庭地域（9.50人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。週別年齢割合を見ると、第6週以降、乳幼児の年齢層の割合が徐々に増加しています。

例年3～5月には、0～2歳の乳幼児を中心にロタウイルスによる胃腸炎が増加するとされています。主な症状は嘔吐と下痢で、ノロウイルスによる胃腸炎に比べ重症度が高いといわれています。嘔吐や下痢により脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

◎感染性胃腸炎が多く発生しています。

石けんと流水でしっかりと手を洗うなど、感染予防と拡大防止に努めましょう。患者の嘔吐物や下痢便を処理する際には、自分が感染しないように、使い捨ての上着やマスク、手袋を着用しましょう。また、塩素系漂白剤などを使った消毒も併せて行いましょう。

通常重症化することはありませんが、小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

保健所別報告患者数 2014年 9週 (2014/02/24~2014/03/02)

2014年3月6日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1911	23.02	653	29.68	468	29.25	275	18.33	287	23.92	71	14.20	30	10.00	127	12.70
RSウイルス感染症	13	0.25	9	0.64	2	0.18	-	-	1	0.14	1	0.33	-	-	-	-
咽頭結膜熱	27	0.51	8	0.57	3	0.27	-	-	1	0.14	1	0.33	5	2.50	9	1.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	72	1.36	32	2.29	20	1.82	3	0.30	3	0.43	1	0.33	3	1.50	10	1.67
感染性胃腸炎	422	7.96	93	6.64	68	6.18	101	10.10	55	7.86	35	11.67	19	9.50	51	8.50
水痘	40	0.75	14	1.00	10	0.91	1	0.10	6	0.86	1	0.33	6	3.00	2	0.33
手足口病	1	0.02	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
突発性発疹	14	0.26	5	0.36	4	0.36	1	0.10	1	0.14	-	-	2	1.00	1	0.17
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	4	0.08	1	0.07	-	-	3	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	13	1.08	4	0.80	6	1.50	3	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.20	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2014年 9週 (2014/02/24~2014/03/02)

2014年3月6日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1911	23.02	653	29.68	468	29.25	275	18.33	287	23.92	71	14.20	30	10.00	127	12.70
咽頭結膜熱	27	0.51	8	0.57	3	0.27	-	-	1	0.14	1	0.33	5	2.50	9	1.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	72	1.36	32	2.29	20	1.82	3	0.30	3	0.43	1	0.33	3	1.50	10	1.67
感染性胃腸炎	422	7.96	93	6.64	68	6.18	101	10.10	55	7.86	35	11.67	19	9.50	51	8.50
水痘	40	0.75	14	1.00	10	0.91	1	0.10	6	0.86	1	0.33	6	3.00	2	0.33
手足口病	1	0.02	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	4	0.08	1	0.07	-	-	3	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	13	1.08	4	0.80	6	1.50	3	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2

を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2014年 第9週 2014/02/24～2014/03/02)

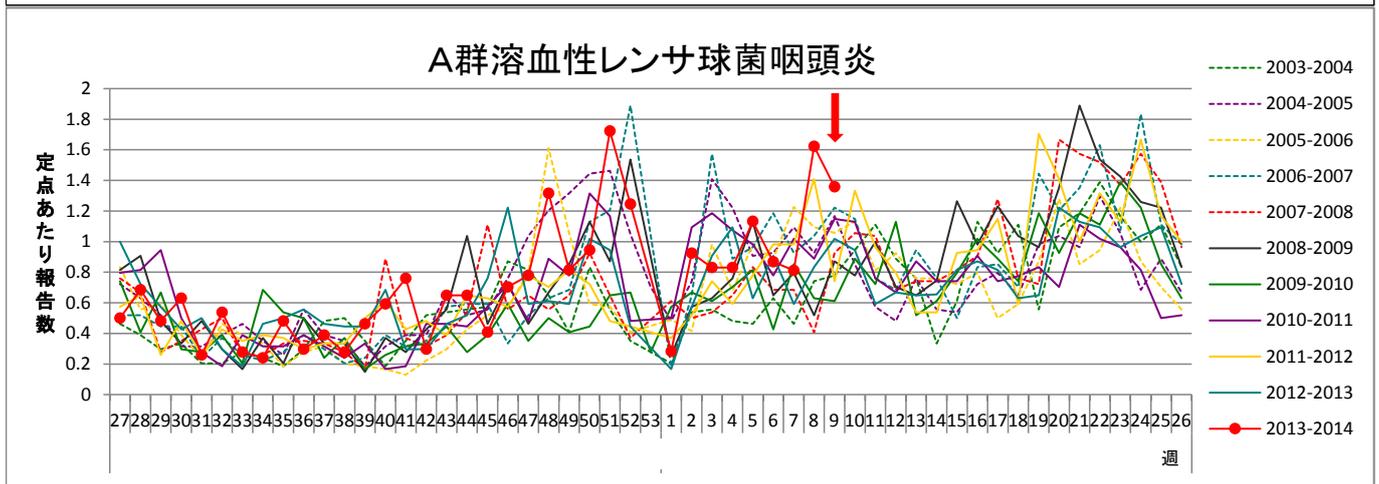
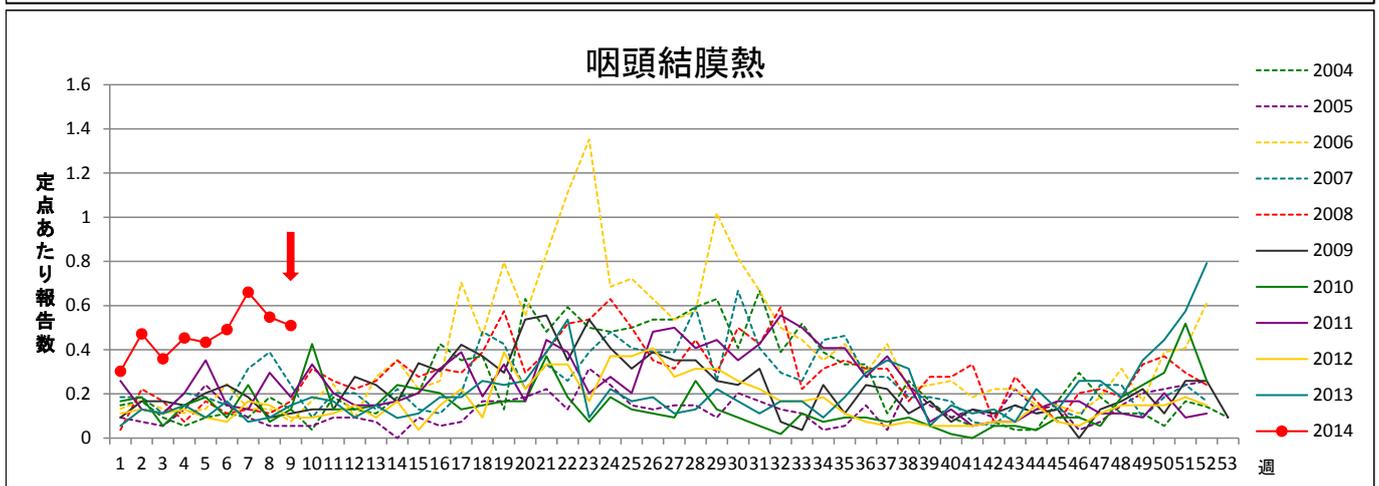
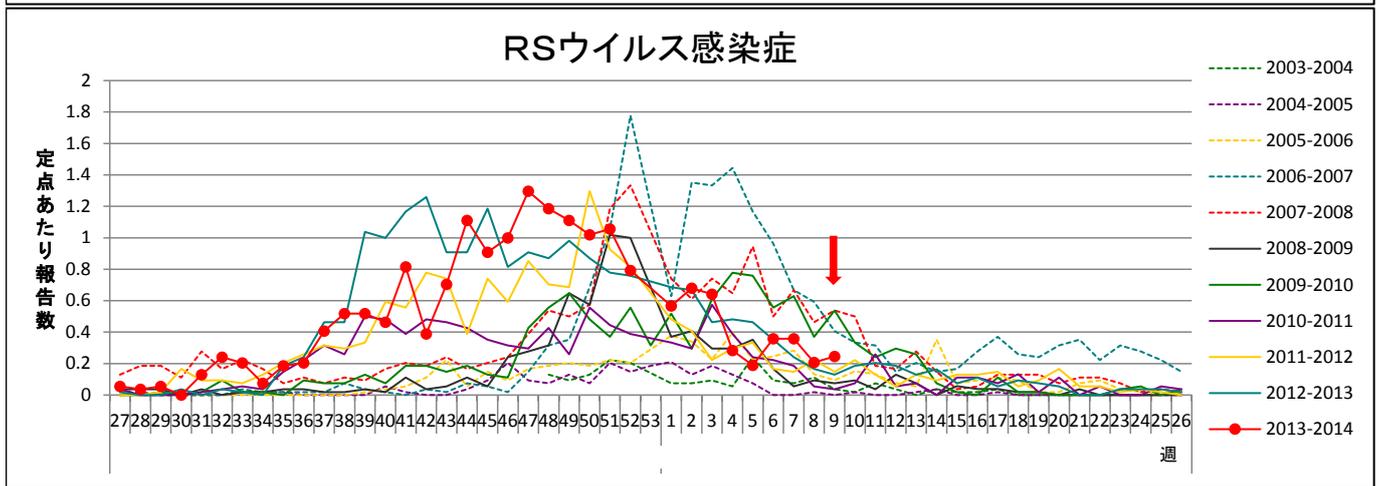
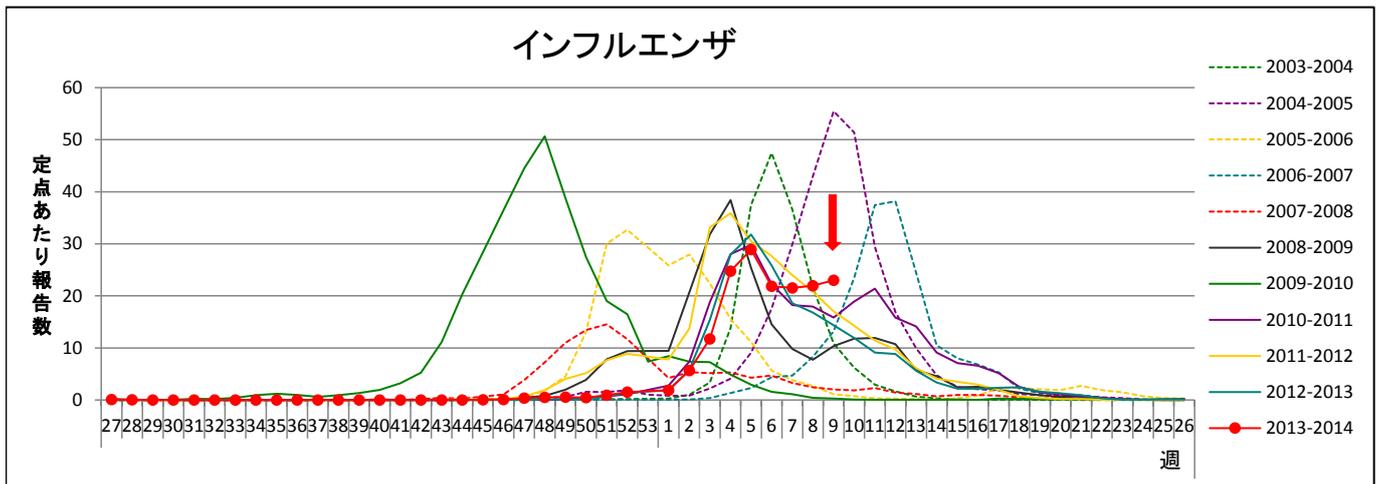
疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	1911	9	19	61	69	76	104	154	158	143	96	98	362	67	75	157	103	68	46	35	11

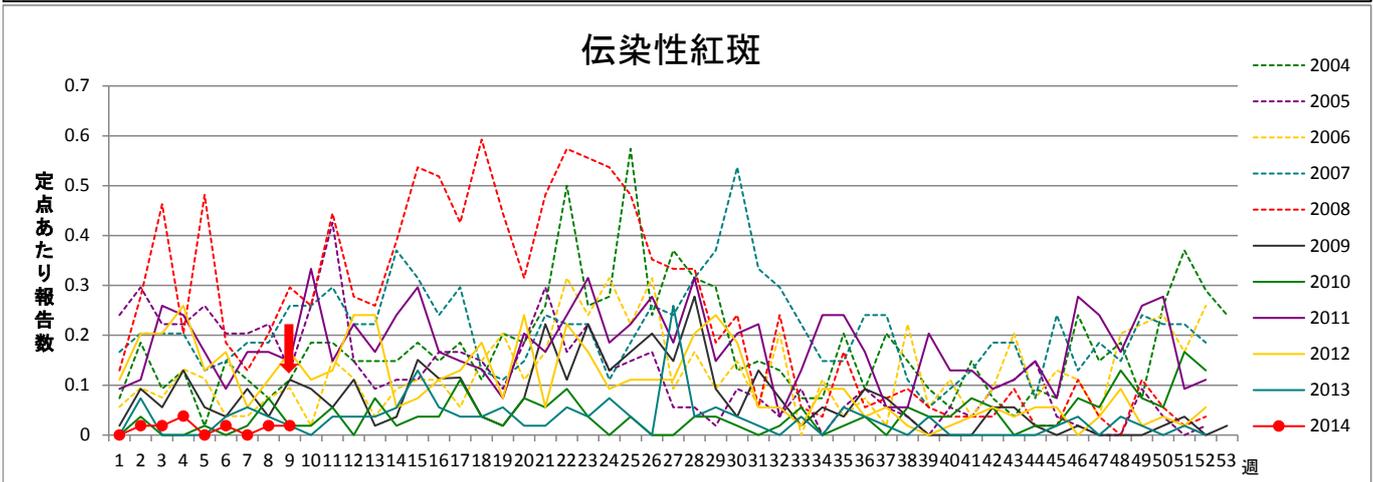
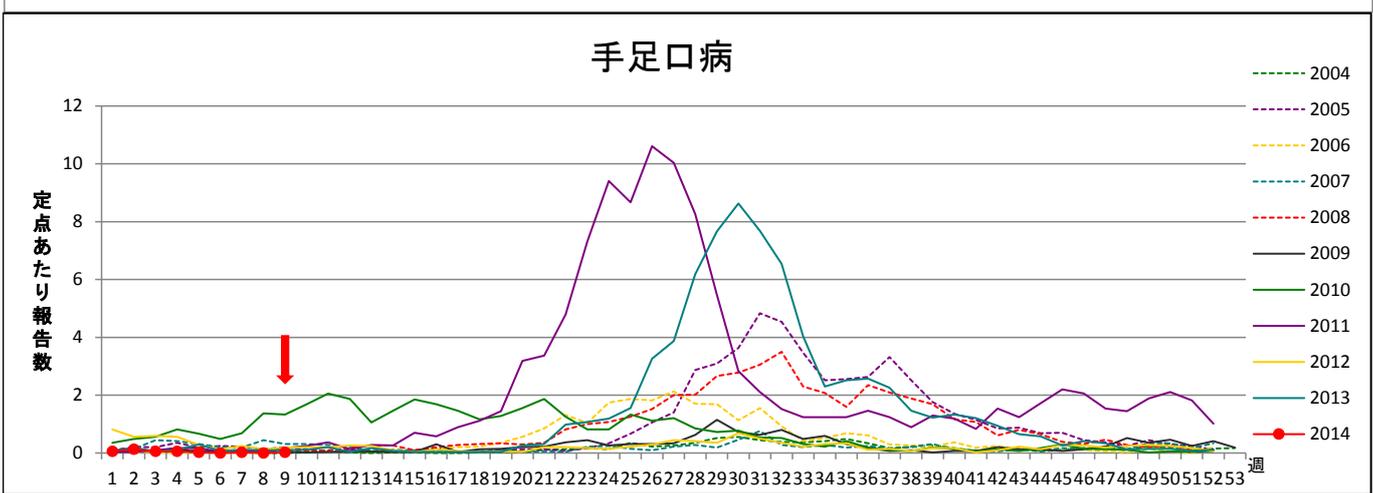
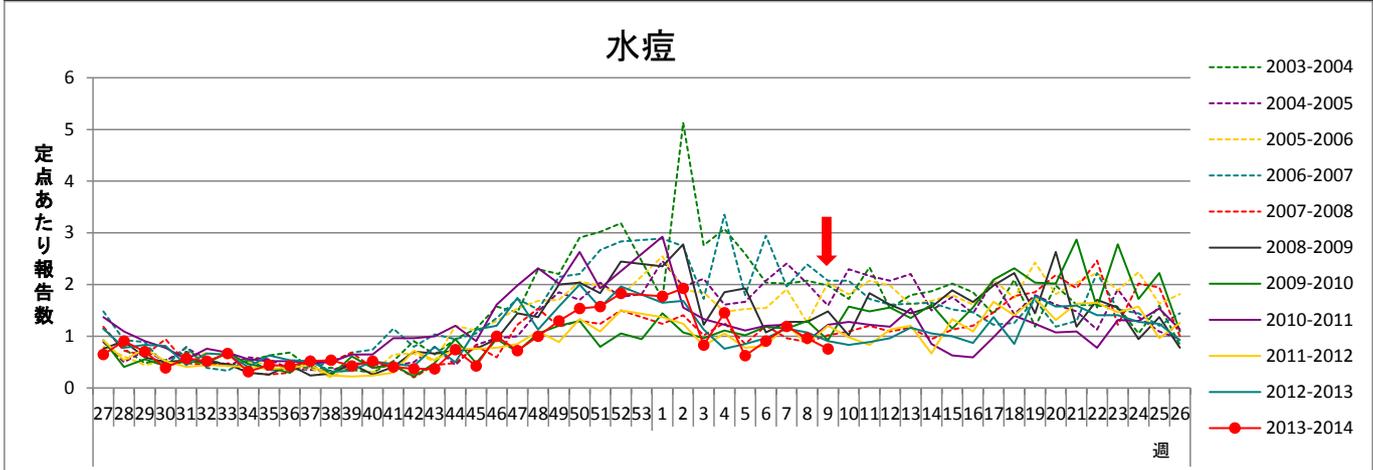
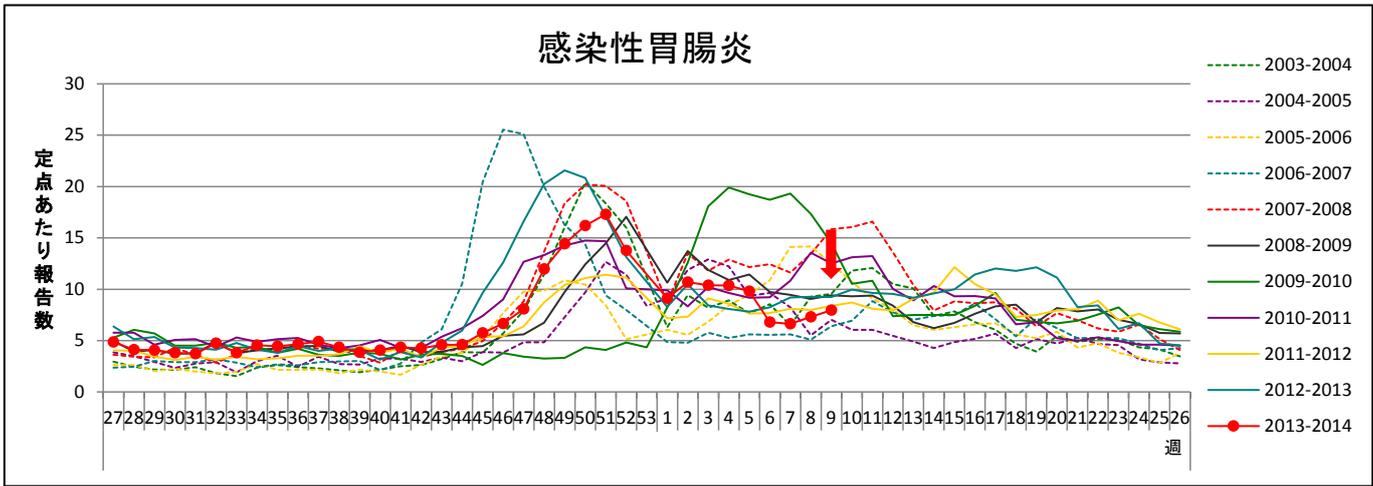
疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	13	6	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	27	-	1	4	3	5	-	8	2	2	-	-	1	-	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	72	-	-	1	5	9	9	14	6	7	4	4	11	-	2
感染性胃腸炎	422	10	23	61	46	33	34	24	27	21	14	11	36	13	69
水痘	40	1	-	4	4	6	3	6	6	2	5	1	1	1	-
手足口病	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	14	-	7	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	4	-	-	-	-	-	-	1	2	1	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	13	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	5	4	1	1	-	-	-

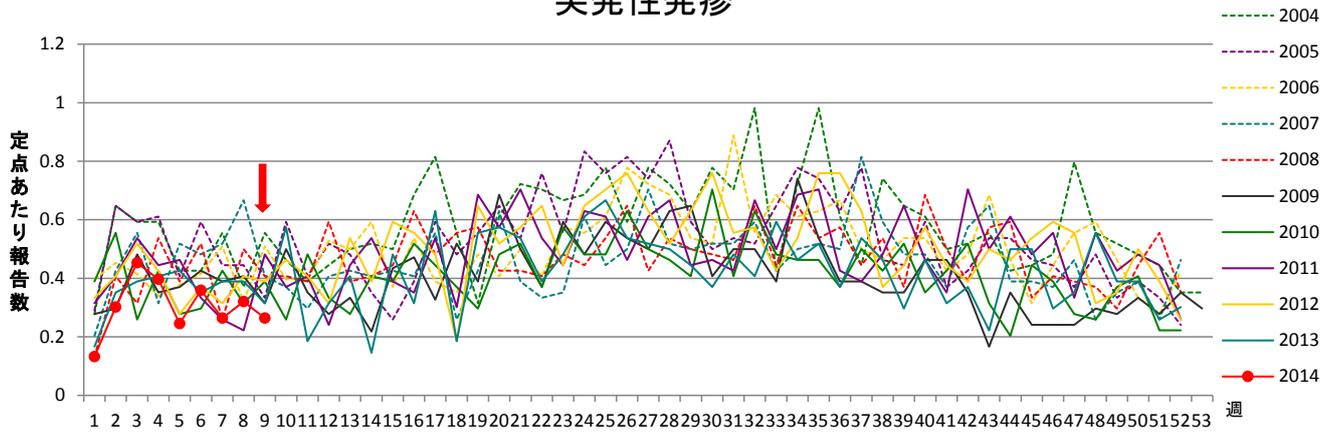
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

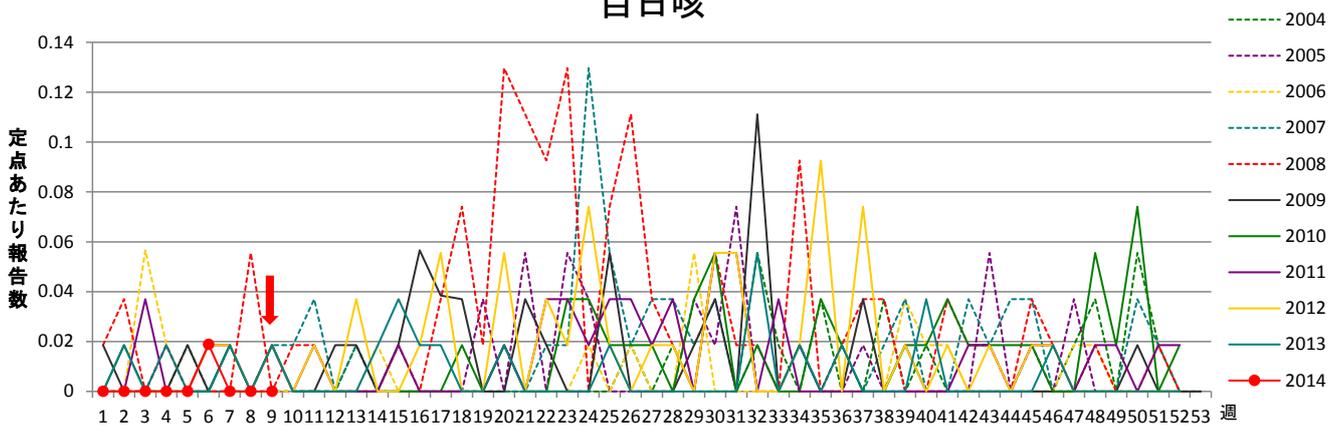




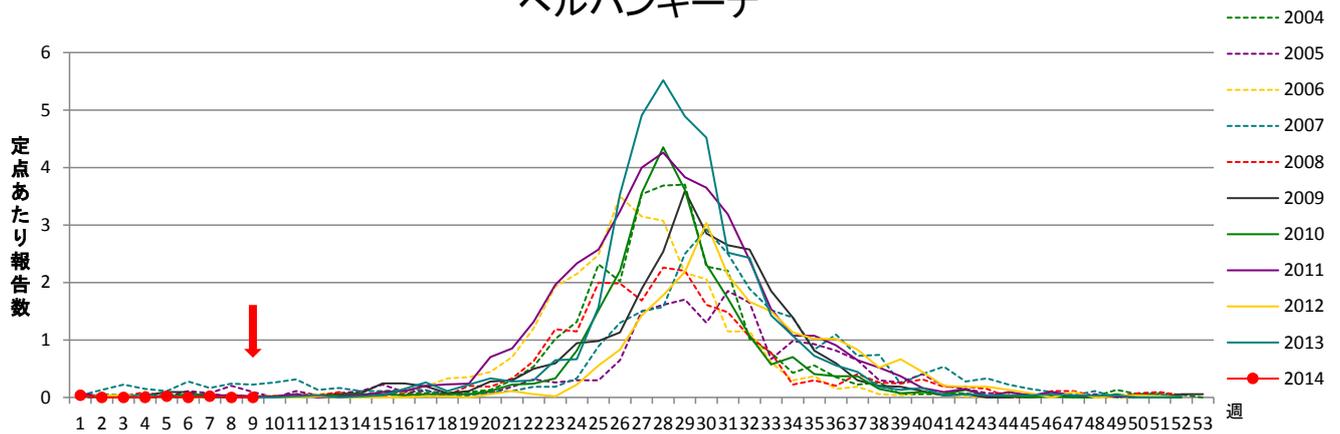
突発性発疹



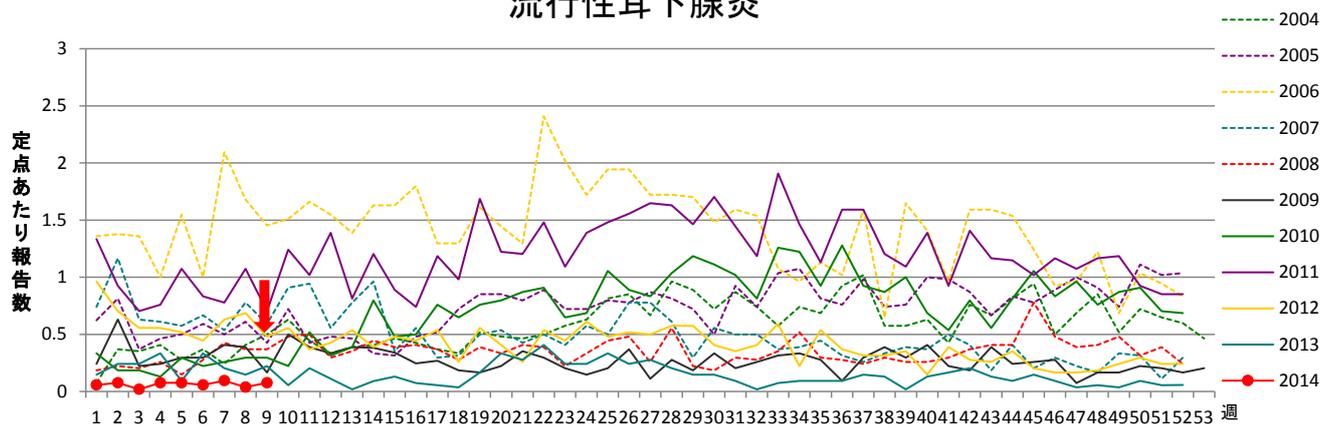
百日咳



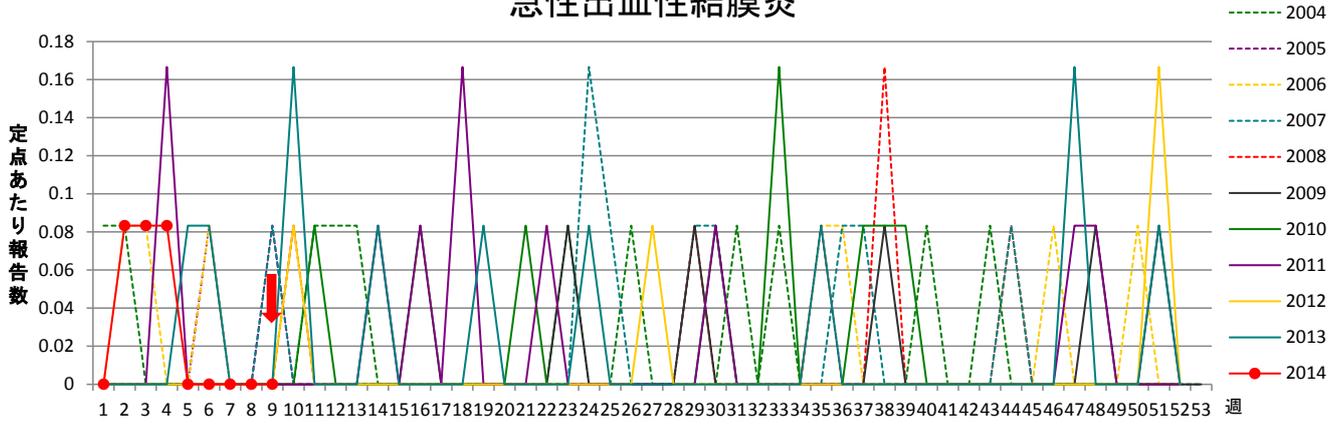
ヘルパンギーナ



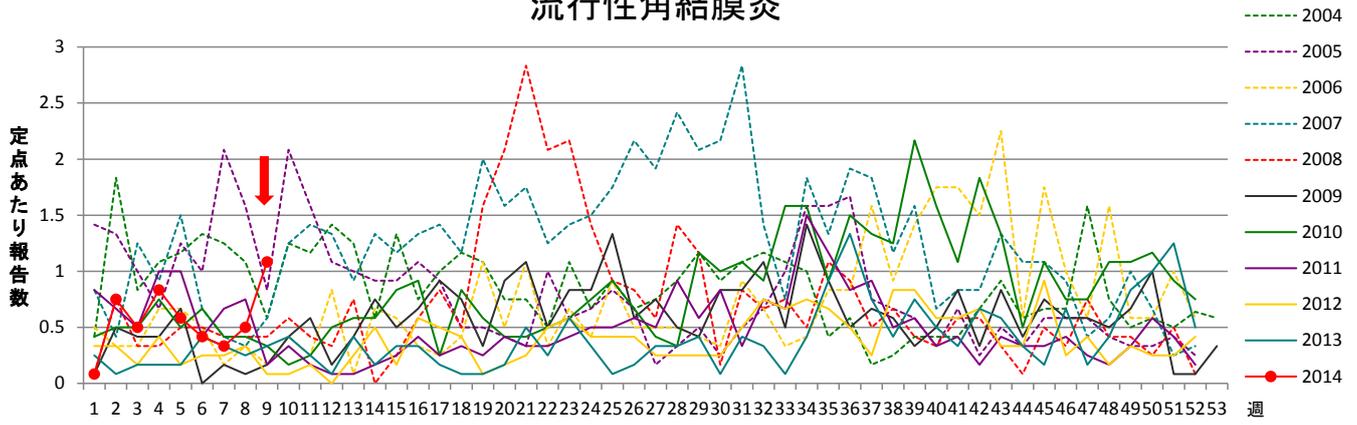
流行性耳下腺炎



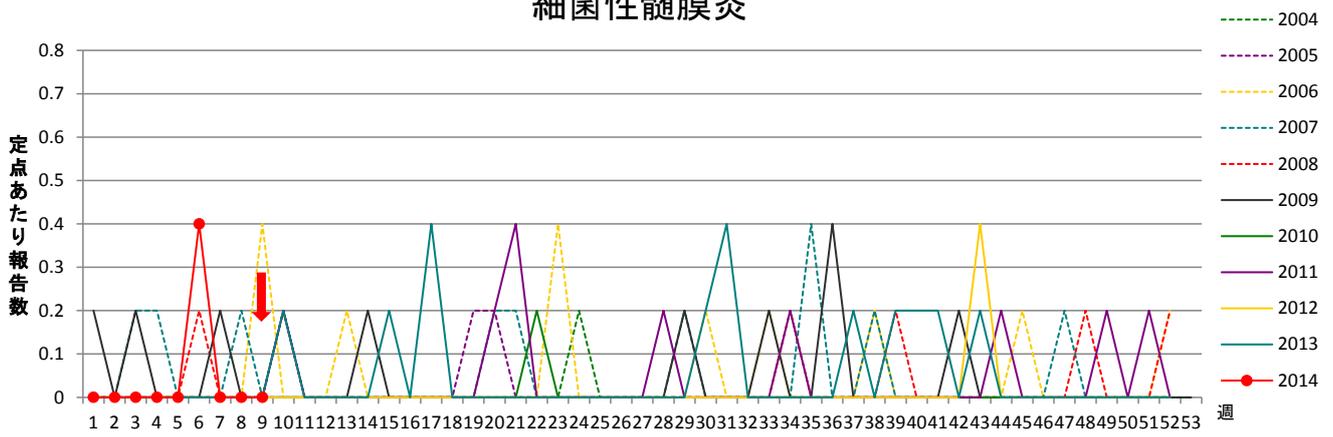
急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎

